事例No.	1878
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	愛知県名古屋市

事例区分	公営企業

タグ	・交通事業 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

公共車両優先システム（PTPS）の導入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【愛知県名古屋市】
公共車両優先システム（PTPS）の導入

DX　交通事業

愛知県名古屋市交通局自動車部自動車車両課

取組の概要

バスの機能強化を実現する手段の一つとして、公共車両優先システム（PTPS）の導入を行った。

◆総事業費　機器設置費用 4,558千円（平成29年度導入分）
維持に係る備消品費 1,367千円/2年（平成18年度導入分）

◆背景

- 平成16年度の名古屋市交通問題調査会「なごや交通戦略」（諮問第2号答申）の4本柱の一つに「使いたくなる公共交通の実現」を掲げており、短期実施施策であるバスの機能強化を実現する手段の一つとして、PTPSを導入することとした。

◆具体的内容

- 県警は信号制御装置等の整備を行い、交通局ではバス車両への車載機の設置を行った。
- 平成18年度に市道東海橋線の明徳橋東交差点～東海通交差点、平成29年度に名古屋多治見線の志段見西小学校東交差点～東谷橋交差点にて運用を開始している。
- 令和5年2月現在、当該区間を走行する車両計136台にPTPS車載器を設置している。

◆効果

- 平均所要時分が削減された（明徳橋東～東海通における平均所要時間▲53秒（県警による導入前後の朝ラッシュ時間帯での計測結果））。
- バスの定時性が向上し、お客さまの満足度も向上した。

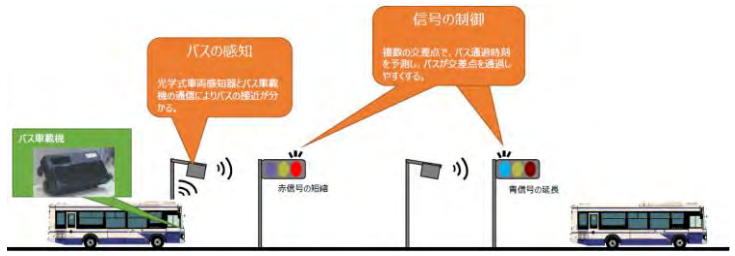
取組のポイント

- 平成18年度導入分のバッテリ式車載機については、車両更新等による車載機の載替え作業に対応するために簡易な設置を採用し、メンテナンスの負担を低減させた。
  車載機の未搭載車両に対しても取付台座を設置し、トラブル等により搭載車両が不足する場合は、すぐに車載機を載せ替えるようにすることで運用の安定化を図った。
- 平成29年度導入分についてはバッテリ不要の車両直結式車載機としたため、維持管理に係る備消品費が不要となった。

公営企業情報

- 行政区域内人口　2,323,994人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　326.5km²（令和4年1月1日時点）
- 営業路線　768.7km（令和3年度決算）

公共車両優先システム（PTPS）イメージ



取組のスケジュール

- 平成16年度：県警本部からPTPS設置のため車載機の搭載要望
- 平成17年度：東海橋レーンを走行する車両にPTPS車載機導入検討
- 平成18年度：東海橋レーンを走行する中川営業所車両にPTPS車載機を搭載
- 平成28年度：県警が名古屋多治見線（志段味西小学校東より東谷橋まで）の道路整備に伴い、交差点の信号機にPTPSの整備を実施
- 平成29年度：上記区間を走行する大森営業所車両23両にPTPS車載機を搭載

今後の展望

- 引き続き、PTPSを使用した定時運行を目指す。